

産業



石戸宿地区農業農村整備事業…487万円
 地域農業の振興等をはかるため、石戸宿地区の耕作道路等の整備を推進しました。

「るるぶ特別編集ようこそ!北本」作成事業…273万円
 北本市の観光資源を効果的に発信するため、新たな情報を追加した観光ガイドブックを増頁し、改訂版を増刷しました。

北本市内共通プレミアム付き商品券発行事業補助…498万円
 商業振興を資金面で支援するため、プレミアム商品券を発行する商工会に対して補助を行いました。

石戸蒲ザクラ保護および周辺整備基本計画事業…202万円
 本市最大の観光資源である石戸蒲ザクラを将来にわたって保護し、魅力発信のシンボルとするための基本計画を策定しました。

市民自治

自治会集会所施設整備事業補助…124万円
 老朽化した自治会集会所施設の修繕費用等の一部を助成しました。

人権の花運動…32万円
 小学校の児童を対象として、児童がお互いに協力しあって草花を育てることにより、生命の尊さを実感しながら、情操をより豊かなものにするを目的に、埼玉県からの委託事業として実施しました。

その他の事業

笑いで元気なまちづくり事業…500万円
 吉本興業の資源を活かして「笑い」を市民寄席、中学校ダンス授業、小学校漫オワークショップなどの事業に取り入れて実施しました。

きたもと市民会議事業…130万円
 無作為に抽出した市民による会議で決定された10案について、ウェブおよび郵送で意見を集約しました。市民より最も支持率が高かった駅前への防犯カメラの設置については、平成25年9月より運用しています。

新庁舎建設事業…3億20万円
 みどりに囲まれた、市民をむすぶやさしい新庁舎を目指して、建設に着手しました。

セーフコミュニティ推進事業…525万円
 人と人との信頼と絆による地域の再生と安心・安全のまちづくりを目指して、セーフコミュニティに推進協議会や対策委員会を立ち上げるなど、セーフコミュニティの認証取得に向けて取り組みました。

実施した主な事業

市では、子育て支援の充実を図るため、平成24年4月より東保育所を開所するとともに、子育て支援センターにおいて地域子育て支援拠点事業を展開しました。平成25年1月診療分から、市内の医療機関で受診する際のことども医療費の窓口払いの廃止に取り組みました。

また、教育施設の整備や充実を図るため、小・中学校では引き続き校舎や屋内運動場の耐震補強および大規模改修事業に取り組みました。

さらに、学校給食施設・設備の改善、充実のため、中学校の給食調理をこれまでのセンター方式から自校方式へ切り替えるにあたり、西中学校で給食室の整備を行いました。

そして、「防災・情報・文化拠点」として、みどりに囲まれた市民をむすぶやさしい新庁舎を目指し、建設に着手しました。

北本市の 決算報告

平成24年度

特集

平成24年度の一般会計歳出総額は、197億8,064万円。
 今回の特集は、市民の皆さんの生活に関わりの深い事業を行う一般会計を中心に、実施した主な事業や決算、財政状況などを紹介します。
 図財政課財政担当 ☎594-5512



環境・景観



北本駅西口駅前広場改修事業…6,284万円
 平成20年度から改修工事に取り組んできました北本駅西口駅前広場改修事業は、歩道舗装等整備工事等を行い、完了しました。

北本2丁目公園等用地取得事業…1億1,567万円
 北本市土地開発公社で先行取得していました北本2丁目公園等の公園用地993㎡を取得しました。

三国コカ・コーラボトリング北本みずべひろばトイレ等詳細設計業務…116万円
 北本市初のネーミングライツを導入した「三国コカ・コーラボトリング北本みずべひろば」を開園しました。このひろばに設置するトイレ等の便益施設の構造を決定しました。

公用車電気自動車化事業…1,823万円
 温室効果ガス排出削減対策を推進し、次世代自動車である電気自動車普及拡大を図るため、国庫補助金を活用して公用車に電気自動車を購入しました。

都市・生活基盤



消防ポンプ自動車更新事業…1,743万円
 自動車NOx・PM法の基準に適合していない北本市消防団第4分団の消防ポンプ自動車を、法に適合する車両に更新しました。

あんしん歩行および自転車通行エリア整備事業…1,845万円
 西中央通線で、歩行者と自転車の通行区分を区画線や自転車マーク等の路面表示、案内看板を設置し、明確化して安全対策を図りました。

圏央道掘割上部蓋掛け負担金…3,842万円
 圏央道JR交差点周辺の上部利用を図ることを目的に、構造を掘割式からボックス式に変更するための事業費を負担しました。

保健・医療・福祉



保育所運営事業…1億2,339万円
 東保育所を新施設で開所し、通常保育とともに公立保育所では初めてとなる3歳以上児の完全給食を実施しました。

予防接種事業…1億7,644万円
 平成24年度から「ロタウイルスワクチン」の接種補助事業を開始し、乳幼児期の感染症予防の充実を図りました。また、定期予防接種において、国の制度改正に伴い、平成24年9月に「不活化ポリオ」、11月に「四種混合」と新しいワクチンを導入した予防接種を開始しました。

こども医療費…1億6,999万円
 子どもが医療を安心して受けられるようにするため、平成25年1月診療分から医療費(保険診療の自己負担分)の窓口払いを廃止しました。

生涯学習・教育



西中学校給食室建設事業…1億8,418万円
 これまでセンター方式で行ってきた中学校の給食調理を自校方式へ切り替えるため、西中学校で給食室の整備を行いました。

小・中学校校舎耐震補強および大規模改修事業…12億6,275万円
 国の補助金等を活用して、栄小学校校舎A棟、宮内中学校校舎A棟(南棟)において耐震補強と大規模改修工事を行いました。

小・中学校屋内運動場耐震補強および大規模改修事業…9億8,491万円
 国の補助金等を活用して、小学校5校、中学校1校で屋内運動場耐震補強と大規模改修工事を行いました。

北本市文化センタープラネタリウム投影機改修工事…1,937万円
 北本市文化センターの開館以来、大規模な改修を行っていないプラネタリウム投影機の改修を行いました。

数値で見る北本市の財政状況

「財政」という言葉をきくと、専門的でわかりにくいという印象を持っていませんか？ここでは、わかりやすく北本市の財政状況を紹介します。

健全化判断比率4指標・資金不足比率

実質公債費比率

市の借入金に係る年間返済額が、市の平均的な年間収入に対してどの程度の割合なのかを表す指標です。平成22年度から平成24年度までの3か年の平均値を表示しています。18%以上だと新たな借金のため、国や県の許可が必要となりますが、北本市はそれを下回っています。

7.1%

〔県内40市中 27位〕



将来負担比率

市が将来的に負担しなければならない負債が、市の平均的な年間収入に対してどの程度の割合なのかを表す指標です。この指標に係る早期健全化基準（イエローカード基準）は、市町村では350%となっていますが、北本市はそれを下回っています。

22.2%

〔県内40市中 10位〕



実質赤字比率・連結実質赤字比率

1年間の収支が、黒字だったのか、赤字だったのかを判断する指標です。実質赤字比率は一般会計等、連結実質赤字比率はすべての会計が対象です。北本市はどちらの比率も黒字のため「—」で表示しています。

—

〔黒字のため数値なし〕



資金不足比率

公営企業（北本市は公共下水道事業特別会計が該当します。）の資金不足額が、事業規模に対してどの程度の割合なのかを表す指標です。北本市は資金不足額がないため「—」で表示しています。

—

〔黒字のため数値なし〕



普通会計の基金および市債

地方債現在高

206億863万円

市の借金である地方債は、公共施設を整備するための借入金です。地方債には、税金を納めていただいている今の世代の方々だけでなく、将来その公共施設を利用する方々にも公平に負担をしていただくという面もあります。

積立基金現在高

41億4,252万円

市の貯金である基金ですが、前年度に比べ減っている状況です。将来に備えた基金の積み立ては、北本市にとって大きな課題の一つです。

財政指標

財政力指数

0.79%

〔県内40市中 28位〕

財政基盤の強さを表す指標です。標準的な行政活動を行なう経費を、どれだけ自力で調達できるかを示したものです。財政力指数が大きいほど、財政力が強く、「1」を超えると、国から地方交付税が交付されません。

経常収支比率

88.5%

〔県内40市中 17位〕

財政構造の弾力性を判断するための指標です。市税等の定期的な収入のうち、人件費・公債費等の常に必要な支出の割合を示すものです。この比率が低いほど、財政状況にゆとりがあり、財政の弾力性が高いといえます。